

イスラエル経済月報（2021年8月）

在イスラエル日本国大使館（担当：経済班 友澤 孝規）

<目次>

イスラエルの動き（主な報道）	2
主要経済指標.....	7
1. 経済成長率（GDP）	
2. 貿易(Export & Import of Goods)	
3. 失業率（Unemployment Rate）	
4. 消費者物価指数（CPI）	
5. 政策金利（Interest Rate）	
6. 為替（Exchange Rate）	
7. 外貨準備高（Foreign Reserve）	
8. 主要株価推移（TA35）	
イスラエル 経済関係.....	12
ハイテク人材 投資が急増する中、イスラエルのテクノロジー分野の求人数が300%増加	
コロナ対策 ワクチン接種した外国人はコロナ隔離をスキップできる？	
日本-イスラエル 経済関係.....	15
要人往来 ラピッド外務大臣、茂木敏充外務大臣と会談	
スタートアップ Veego Software、1300万ドルのシリーズA資金調達を完了（三井物産系のVC、Magenta Venture Partnersがリード）	
小売 サムライインキュベートがシードステージのPickeyに投資（詳細非公開）	
イスラエルにおける展示会・国際会議等の予定（目次掲載は主要なもののみ）	18
モビリティ SMART MOBILITY SUMMIT 2021（2021年11月8～9日、テルアビブ）	
防衛 ISDEF2021（2021年11月9～11日、テルアビブ）	
サイバーセキュリティ CYBERTECH GLOBAL TEL AVIV 2022（2022年1月25～27日、テルアビブ）	
スタートアップ 2022 OURCROWD GLOBAL INVESTOR SUMMIT（2022年3月9日、エルサレム/オンライン）	
日本における関連イベントの予定（目次掲載は主要なもののみ）	23
IoT Webinar：IoTを通じたデジタル革命の加速化（2021年9月2日、オンライン）	
モビリティ JIIN 第二回 スマートモビリティ バーチャルイベント（2021年10月6日、オンライン）	

※本資料は、報道や政府発表、企業発表等の一般公表情報を基に作成しております。

イスラエルの動き（主な報道）

（出典：報道）

- 1日 オルナ経済大臣は、財務大臣との折衝において、テルアビブ・メトロの調達における相互調達（海外企業による現地企業からの調達）の義務づけ方針を勝ち取った。
- 1日 イスラエルのハイテク・スタートアップは、今年7月には24億ドルを調達。今年7ヶ月分で143億ドルとなり、2020年の100億ドルという記録を既に超過。
- 1日 イスラエルの内閣は、エルキン建設大臣が提案したパレスチナ人・その他外国人の建設業界における雇用割当の増加について承認。
- 1日 イスラエルの著名なVCであるJVPが率いるハイテク使節団は、フランスを訪問。JVPが投資したスタートアップの欧州市場開拓を目的としており、今後はパリにイスラエル企業の欧州市場開拓を支援するイノベーションセンターを創設する予定。
- 1日 中国は、ガザ地区に対して、エジプトで生産された新型コロナウイルスの50万回分のワクチンを寄付することを計画。中東和平への関与の一環とみられる。
- 1日 イスラエル高等教育評議会は、中国の対外経済貿易大学が、イスラエル内のペタ・ティクバにキャンパスを開設することを承認。
- 1日 イスラエルは60歳以上に対するコロナワクチンの3回目接種を開始。
- 2日 イスラエルの内閣は3年ぶりの新しい予算案（2021-2022年の2カ年分）を閣議決定。今後は国会に送られて審議され、11月上旬までに成立する必要がある。
- 2日 イスラエルの内閣は、予算案の一部として、テルアビブ地域における渋滞税の導入を承認。実際の導入は、カメラ設置や支払いシステム開発後の2024年より後。
- 2日 イスラエルのマーケティングサービス・スタートアップYotpoは、2022年初頭に20-25億ドルの企業価値評価でIPOすることを目指す。
- 2日 エル・アル航空は、上海における新型コロナウイルスの再拡大を受け、今月17日までイスラエル・上海間の運航をとりやめる旨を発表。
- 2日 Googleは、イスラエルにおいて政府へのクラウド提供に加え、データ・サーバーの拠点や光ファイバーネットワークの構築を計画。
- 2日 イスラエル政府は、当国で初めてとなるカーボンプライスの導入について承認。2050年の温室効果ガス削減目標を達成するための手段の一つ。
- 3日 今月11日より、米国やギリシャ等の18カ国からイスラエルに帰国した人には、ワクチンを接種していたとしても7日間の隔離を義務づける旨が決定。
- 3日 今月8日より、レストラン等への入室に際してグリーンパス（2回のワクチン接種証明）の提示義務付けを再開することを決定。
- 3日 イスラエルのFintechスタートアップRapydは、100億ドルの企業価値評価で、3億ドルを調達。イスラエル史上、未公開企業で最大の企業価値評価額。
- 3日 イスラエル財務省は、PPP案件となっているエルサレムにおけるライトレールへの入札を5団体に対して許可。
- 3日 イスラエルのCybereason社は、中国政府の利益のために活動する携帯電話の盗聴組織としてSoft Cell社、Naikon APT社、Group-3390社の3社を指摘。

- 3日 StartupBlink 社が発表している新型コロナウイルス対策関連のイノベーション・ランキングにおいて、米国に続いてイスラエルが2位に。
- 4日 韓国企業サムスは、イスラエルのe-スポーツのチームである Team Finest とパートナー契約を結ぶ旨を発表。
- 4日 イスラエルにおける新車販売は記録的な台数が継続しており、今年7月までに21万台となり、前年同期比で48%増となっている。
- 4日 Google はイスラエルにおいて、支払いシステムである Google Pay の導入を計画しているが、当初の予定より延期して年末頃となる見込み。
- 5日 世界最大の投資会社の一つであるアポロ・グローバル・マネジメントは、イスラエルの通信会社 Partenr の株を27%保有する Hutchinson と、当該株の買収交渉中。
- 5日 イスラエルの国家サイバー総局は、シーメンスと行った大手が提供するエネルギー・産業セクターで活用されている装置のTCP/IP部分に危うい脆弱性を発見。
- 5日 イスラエルのゲーム・スタートアップの CrazyLabs (2020年に世界で3番目に多くダウンロード)を、スウェーデンの Embracer Group が買収。買収額は未公開。
- 8日 今年のイスラエルの財政赤字は、経済の回復による歳入の増加により、7月末まででGDPの10%以下にまで低下。
- 8日 イスラエルのVC大手 OurCrowd は、アゼルバイジャン投資会社(AIC)と了解覚書を締結。AICはOurCrowdを通して10-15のスタートアップに投資予定。
- 8日 イスラエルのリブリン前大統領は、電気自動車の運転中に充電するプラットフォームを開発する ElectReon Wireless の社長に就任。
- 9日 中国によるイスラエルへの大規模なサイバー攻撃に関して、初めての文書化されたものとして、サイバーセキュリティ企業 FireEye が報告。
- 9日 イスラエル政府は、今後の入札を見据え、イスラエルへのスーパーコンピュータ設置に向けた情報提供を依頼する要求を公開した。
- 9日 イスラエルのダイヤモンド産業は、上昇トレンドを記録中。2021年1-7月のダイヤモンドの輸出量は、前年同期比で69%伸びている。
- 9日 中央銀行のイスラエル銀行は、住宅ローンの過熱を抑制するため、現在行っている住宅ローン向けの緩和政策を止めるといった措置を行う。
- 10日 イスラエルのAIを活用した医療画像分析スタートアップの Zebra Medical は、同分野で昨年NASDAQ上場をしたイスラエル企業の Nanox により2億ドルで買収。
- 10日 イスラエルのAIを活用したハイテク人材紹介スタートアップである Joonko は、Vertex Ventures がリードするシリーズAで1000万ドルを調達。
- 10日 イスラエルのスタートアップでクラウドデータ保護プラットフォームを提供する OwnBackup は、シリーズEとして2.4億ドルを調達。
- 10日 米国のサイバーセキュリティ企業 Mandiant は、中国のスパイグループ UNC215 によるイスラエルの政府機関・通信会社等に対する活動を明らかにした。
- 10日 昨年7月のベングリオン空港における貨物取扱い量は、昨年同月比で30%増加。コロナ禍下により主に旅客機による貨物取扱い量が増加した。
- 10日 イスラエルの通貨シェケルは、過去7ヶ月の反動でドルに対しては弱くなってきているが、ユーロに対しては過去18ヶ月で最も強い水準となっている。

- 10日 ハイテク起業家の Elad Cohen 氏が所有する Continuous A は、イスラエル初の太陽光パネル工場をエイラットに建設する。
- 11日 イスラエルの AI スタートアップである AI21 Labs は、新たな自然言語処理モデル Jurassic-1 を発表。世界最高と言われる米国の GPT-3 より優位な面があると主張。
- 11日 イスラエルの The Good Company, Agoro Carbon Alliance, Strauss Israel 等は共同で農業・食料技術のスタートアップを探索・育成するミッションを開始。
- 11日 イスラエルの大学である IDC Herzliya の Abba Eban Institute は、アブラハム合意を背景に、バーレーンの Derasat Institute と提携したことを発表。
- 11日 ベネット首相は、コロナに対応するための病院のキャパシティ倍増を目指して、25億シェケル（約 800~900 億円）を投入する旨を発表。
- 12日 カナダの VC である Awz Ventures は、イスラエル防衛省の研究開発組織 MAFAT と協力して 8250 万ドルのファンドを組成。防衛省は研究所や試験場を提供。
- 12日 ベネット首相は、ファイザーのボルラ CEO に対して、12 歳以下の子供に打つことのできるコロナワクチンの承認プロセスを急ぐことを要請。
- 12日 テスラは高価格モデルであるモデル Y をイスラエルに投入予定。2021 年最終四半期に認可され、2022 年より販売見込み。電気自動車の競争が激化している。
- 12日 アマゾン、イスラエルにおける販売を強化するため、65 ドル以上の購入で送料無料とするキャンペーンを開始予定。同社は今までも同様の取組を断続的に実施。
- 13日 コロナワクチンの 3 回目接種を、60 歳以上から 50 歳以上に拡大。
- 13日 シスコは、イスラエルの SaaS 開発（マイクロサービスやクラウド・アプリケーションの把握・追跡技術）スタートアップの Epsagon を 5 億ドルで買収と発表。
- 14日 ベネット首相は、イスラエルにおけるコロナ対策として、市民の健康を維持すると共に、ロックダウンを極力避けて経済を維持する方式を公式に発表。
- 15日 イスラエルの国有道路会社である Netivei Israel は、3 つの高速インターチェンジに太陽光パネルを設置する入札を募集開始。20MW の規模。
- 15日 イスラエルとアメリカの研究チームは、動物のリヤマから得られた抗体が、コロナの治療に効果があるかもしれないとの発見を報告。
- 16日 ファイザーは、イスラエルにおいて行った 100 万人のコロナワクチンの 3 回目接種に関する初期データを、米国の FDA に提出。
- 16日 世界大学学術ランキングのトップ 100 大学に、イスラエルの大学が 2013 年以来初めて 3 校（ヘブライ大学、テクニオン大学、ワイツマン研究所）がランクイン。
- 16日 投資プラットフォーム企業の OurCrowd は、10 億ドル以上での NASDAQ における SPAC 上場について交渉中。
- 17日 イスラエルの新しい科学技術大臣であるコーヘン大臣は、ハイテク従業者が足りない問題に対し、多くの移民等により解決する方針。そのための規制改革を目指す。
- 17日 イスラエルのアクセラレーターである Techstars TLV は、スタートアップ 12 社を募集する新しいアクセラレーション・プログラムを開始。締切りは 9 月 20 日。
- 18日 Rafael 社と RAD Bynet 社は共同でイスラエル国防軍の若手卒業生に対し、AI・ビッグデータの技術教育をガリラヤ地方で行う提携を発表。地方の振興も狙い。

- 18日 60歳以上の人にファイザーのコロナワクチン接種を3回実施した場合には、86%の効果があつたと Maccabi Health Service が報告。
- 19日 インテルは、2016年に買収した Replay Technologies をベースとしたスポーツ部門を閉じて、同じく買収したモバイルアイのスマート車部門に振り分ける。
- 19日 レイターステージにいるイスラエルのトップ 50 非公開ハイテクスタートアップに投資する Big-Tech 50 R&D Partnership は 32%の投資利回りを上げたと報告。
- 20日 コロナワクチンの3回目接種を、50歳以上から40歳以上に拡大。
- 22日 中国が支援するハイアール・イノベーション・センターは、HCH Ventures と共に、イスラエルの不動産テック起業家を中国企業とつなげるロードショーを開催。
- 22日 イスラエルにおける 300MW 太陽光プロジェクトに対して 11 のグループが入札。太陽光には蓄電池併設が求められており、ディモナ近くで 2024 年運転開始予定。
- 22日 イスラエルのスマートモビリティ企業である R E E 社は、英国政府より 1400 万ユーロを与えられる。輸送ネットワークの脱炭素化に向けた取り組みの一環。
- 22日 イスラエルのイノベーション庁は、合成生物学の研究・サービスを、ヘルスケア・農業・エネルギー・食料・防衛等の分野のイスラエル企業に提供する法人を設立。
- 22日 輸入規制改革が承認され、輸入品に基準準拠の試験結果を求めているのを、輸入者の宣言のみとし、代わりに経済産業省による監督の仕組みを強化。
- 22日 イスラエルの IAI 社は、エチオピア航空との協定に署名し、ボーイング 767 を貨物機に改造する新しいセンターを、エチオピアの首都アディスアベバに開設する。
- 23日 米国はベネット首相に対して、テルアビブ都市圏のライトレールプロジェクトへの中国企業の参入を止めるように圧力をかけているとの報道。
- 23日 保健省は、新型コロナウイルスの観点から 8月31日よりイスラエルから渡航できない国として、ブルガリア・ブラジル・メキシコ・トルコの4カ国を指定。
- 23日 テルアビブにある空港跡地ステ・ドブの土地利用の入札で4社が落札。1540戸のアパートが供給される予定だが、アパートの価格は500万シェケル超えの見込み。
- 23日 新型コロナウイルスの重篤患者のうち15人に14人が、現在治験中の TriCor という15ドルの薬によって、一週間以内に酸素供給が必要無くなったとの報告。
- 24日 コロナワクチンの3回目接種を、40歳以上から30歳以上に拡大。
- 24日 イスラエルの車関係のサイバーセキュリティ・スタートアップである Upstream 社は、6200万ドルを調達完了。三井住友海上の投資3600万ドルもこれに含む。
- 24日 イスラエルの代表的な労働組合である Histadrut は、航空産業において労働争議を宣言。エル・アル航空による新たに800人を無給休暇とする要求が背景。
- 24日 イスラエルの財務省は、コロナ渦下で苦境に立たされているエル・アル航空等の航空会社に対して、融資による支援を継続する旨を発表。
- 24日 通常91,000ドルのテスラSを購入する上でイスラエルは166,000ドル。これは17%の消費税や10%の購入税に加え、高級車向けの課税が大きいことが背景。
- 24日 GoTo は、イスラエル・スペイン・マルタにおいて最大の様々なモビリティ・シェアサービスを提供するスタートアップとして、シェアモビリティの未来を主導。
- 25日 イスラエル政府のクラウドに係る入札はアマゾンと Google が落札したが、オフィスソフトとのパッケージとしてマイクロソフトのクラウドも活用される見込み。

- 25日 イスラエルの Insurtech スタートアップ Sayata は、シリーズ A として 1700 万ドルを調達。同社は、企業による様々な種類の保険購入を可能にする市場を提供。
- 25日 イスラエルの medtech スタートアップ CorNeat は、中国系の GIBF より 400 万ドルを調達。同社は合成角膜を開発しており、投資は広州市にある子会社が受ける。
- 25日 イスラエルのシリアル起業家 Benny Landa は、保有するデジタル印刷スタートアップ LDP を、20 億ドルの評価で NASDAQ に SPAC 上場するプロセスに入った。
- 25日 イスラエルの IAI は、UAE の Etihad Engineering と提携し、旅客機（ボーイング 777）を貨物機に改造するセンターを、アブダビに設置する。
- 25日 イスラエルの石油会社 Paz は、2020 年第 2 四半期の売上は去年同期比から倍増したが、石油精製部門の損失により赤字に。石油精製部門をスピンオフする予定。
- 25日 イスラエル保健省のデータによれば、コロナワクチンの 3 回目接種により感染に 95% の効果を発揮し、重症化に対しては 97% の効果を発揮。
- 25日 米軍は、イスラエルのアイアンドームのシステムを購入しないことを決定。代わりに Leidos の子会社である Dynetics のシステムを選んだ。
- 25日 イスラエルのスタートアップ Antidote Health は、テクノロジーを活用し、イスラエルの健康保険・医療サービス Kupat Holim のモデルの米国への導入を目指す。
- 26日 ベネット首相と米国のプリンケン外相は、米国のビザ免除プログラムにイスラエルを指定国とする旨を前進させることに合意。
- 26日 中央銀行のイスラエル銀行は、クレジットカード会社と銀行に対して、過去 5 年間の顧客の購買データ提出を要求。経済政策の立案に活かす予定。
- 26日 中国の食品会社 Bright Food は、買収したイスラエル最大の食品会社の一つである Tnuva の IPO を推進。
- 26日 イスラエルの V C 大手 OurCrowd が投資した約 300 企業による採用募集人数が、昨年第二四半期のピーク 836 人から、今年 6 月には 2628 人と約 3 倍に増加。
- 26日 エルサレムは、テルアビブ周辺への人口流出が進む現状を背景に、ハイテク企業への手厚い税控除等を行い、イスラエルのハイテク首都になる未来を目指す。
- 29日 イスラエルのイノベーション庁は、ハイテク人材不足の解決を目指して、研修費用を最大 70% 補助する Human Capital Fund program の募集を開始。
- 29日 イスラエルの Entrée Capital は、UAE のスタートアップ 4 社に対して、今まで 1500 万ドルを投資。最も最近の投資は、インシュアテック企業の Hala に 500 万ドル。
- 29日 コロナワクチンの 3 回目接種を、2 回目から 5 カ月経った人全員を対象に拡大。3 回目接種者や 2 回目を受けて 6 カ月内の人等は、帰国後の隔離が 9/3 より免除に。
- 30日 元モサド長官のタミール・パルド氏が共同創業者であるイスラエルのサイバーセキュリティ企業 XM Cyber は、UAE やバーレーンのインフラを防護する入札に参加。
- 30日 イスラエルのサイバーセキュリティ企業 Check Point は、同国スタートアップで e-mail によるサイバーアタックを防ぐ解決策を提供する Avanan を 3 億ドルで買収。
- 30日 米国のソフトウェア企業 Synaptics は、イスラエルの音声・無線の半導体メーカー DSP Group を 5 億 4000 万ドルで買収。DSP Group は 1994 年に NASDAQ 上場。
- 31日 イスラエルの宇宙庁は、2022 年初頭に予定する無人探査において、イスラエルの宇宙スタートアップ Ramon.Space のコンピュータ・ペイロードを選択。

主要経済指標

1. 経済成長率 (GDP)

● 2021年第2四半期の成長率は年率15.4% (一次推計)

中央統計局は、2021年第2四半期の経済成長率が15.4%だったと発表した(2021年第1四半期の年率マイナス5.8%より反動増)。

大幅なプラス成長には、コロナに関わる多くの規制が撤廃され、通常の経済活動に復帰したことが影響した。

出典：イスラエル中央統計局

[National Accounts: First Estimation for the Second Quarter of 2021 \(cbs.gov.il\)](https://cbs.gov.il/national-accounts/first-estimation-for-the-second-quarter-of-2021)

2. 貿易 (EXPORT & IMPORT OF GOODS)

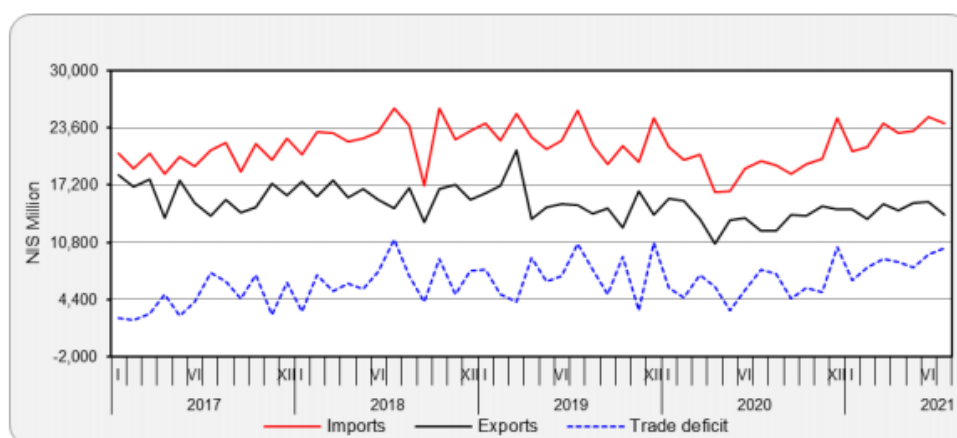
● 2021年7月の貿易赤字は102億NIS

中央統計局の発表によれば、2021年7月の物品輸入は241億NIS、物品輸出は139億NISであり、貿易赤字は102億NISであった。

物品輸入の46%は原材料(ダイヤ、燃料除く)であり、26%が消費財、15%が機械装置・陸上輸送機、13%がダイヤ、燃料、船舶、航空機である。物品(船舶、航空機、ダイヤ、燃料除く)の輸入は直近3カ月で年率12.6%増加。

鉱工業製品の輸出が全体の89%を占め、10%がダイヤモンド、残り1%が農林水産品。物品(船舶、航空機、ダイヤ除く)の輸出は直近3カ月で年率5.4%増加。工業製品輸出(ダイヤ除く)のうち39%を占めるハイテク製品輸出は、直近3カ月で年率20.2%増加。

Diagram 1 - Imports, Exports and Trade Deficit in Goods (original data)



(※ — : 輸入, — : 輸出, - - - : 貿易赤字)

出典：イスラエル中央統計局

[Israel's Foreign Trade, Exports & Imports of Goods: July 2021 \(cbs.gov.il\)](https://cbs.gov.il/foreign-trade-exports-imports-of-goods-july-2021)

3. 失業率（UNEMPLOYMENT RATE）

- 7月の失業率は5.2%で、前月5.4%より改善。

中央統計局は、2021年7月の失業率は5.2%であり、前月比0.2%ポイント減と発表。その他、新型コロナウイルス等に関連した労働関係のデータは以下のとおり。

	6月	7月
失業者（率）	225,200人 (5.4%)	216,800人 (5.2%)
新型コロナウイルス関連で一時的に全く仕事をしていない被用者+失業者数（率）	274,200人 (6.6%)	259,500人 (6.2%)
2020年3月以降解雇又は職場の閉鎖により労働をやめて労働人口にカウントされない人+新型コロナウイルス関連で一時的に全く仕事をしていない被用者+失業者数（率）	387,100人 (9.0%)	358,900人 (8.4%)

出典：イスラエル中央統計局

[Labour Force Surveys Monthly July 2021 \(cbs.gov.il\)](https://cbs.gov.il/eng/press-releases/2021/07/20210701-01.html)

4. 消費者物価指数（CPI）

- 7月期のCPIは前月比0.4%ポイント増

中央統計局の発表によれば、2021年7月期のCPIは前月比0.4%ポイント増（2020年平均を100.0した時、2021年6月の101.4が、2021年7月に101.8と増加）。

うち価格上昇が著しかったのは、輸送（1.6%ポイント増）、文化・娯楽（0.9%ポイント増）。一方、価格下落が著しかったのは、被服・靴（4.7%ポイント減）、野菜・果物（0.7%ポイント減）。

年初からのCPIは2.0%ポイント増加しており、過去12か月間でも1.9%ポイント増。イスラエル中央銀行が年間の目標範囲としている1%～3%内。

中央統計局は、5-6月期の住宅価格指数も公表。3-4月期に比べて0.7%上昇した。前年同期比では7.2%上昇している。

出典：イスラエル中央統計局

[Consumer Price Index, July 2021 \(cbs.gov.il\)](https://cbs.gov.il/eng/press-releases/2021/07/20210701-02.html)

[Price Changes in the Dwellings Market: July 2021 \(cbs.gov.il\)](https://cbs.gov.il/eng/press-releases/2021/07/20210701-03.html)

5. 政策金利 (INTEREST RATE)

● 中銀、政策金利を 0.1%で維持

8月23日、イスラエル中央銀行の金融委員会（日本でいう金融政策決定会合）は、政策金利を0.1%のまま維持することを決定。中銀による声明の要旨は以下のとおり。

新型コロナウイルスの罹患者の増加により、活動の制限が厳しくなり、短・中期的な経済活動の不確実性が増している。並行して3回目のワクチン接種が行われており、これにより重篤な罹患者が低下し、予想される経済への悪影響が軽減されることが期待されている。

最近の罹患者悪化の前の期間に関する様々な指標を見ると、ほとんどの産業で活動レベルが長期的なトレンドに戻っていたが、脆弱な対人産業では活動がまだトレンドを下回っていた。

第2四半期のGDPは年率15.4%の高い成長率を記録。加えて、中央統計局が過去のGDPデータを上方修正した。この組み合わせにより、第2四半期のアウトプットギャップは約3%となり、前回の評価である4.5%を下回った。

労働市場のデータは危機以前の水準に戻りつつある。求人数は年初来の傾向を維持して増加を続けており、企業から報告された従業員の雇用抑制が、引き続き、活動の拡大を圧迫。ただし、求人数に対する失業者数の割合は、イスラエルの地理的な地域によって顕著に異なる。

インフレ率の上昇傾向が続いている。過去12ヶ月間のインフレ率は1.9%。来年のインフレ期待値は目標範囲内で、若干低下。資本市場から得られる期待値などは目標範囲の中間点にあり、インフレ予測者の期待値は低い。資本市場から得られる中長期的なインフレ期待は、目標範囲の中間点に固定されている。

前回の金利決定以降、シェケルは対米ドルで0.6%、実効為替レートで1.5%、対ユーロで2.2%、それぞれ上昇した。

住宅価格は過去12ヶ月間で7.6%と急速に上昇。他方、賃貸価格の上昇ペースは比較的緩やかなものとなった。

イスラエル経済は、危機からの回復過程が続いている。しかし、イスラエル内外での健康リスクの高まりを考えると、経済活動にはまだ課題が残っている。したがって、委員会は、政策目標の達成と経済の危機からの回復を引き続き支援し、金融市場の秩序ある機能を確保するために、必要に応じて金利ツールを含むさまざまな手段を用いて、非常に緩和的な金融政策を長期にわたって継続する。

政策金利の見直しは年10回で、次回公表日は10月7日。

出典：イスラエル中央銀行

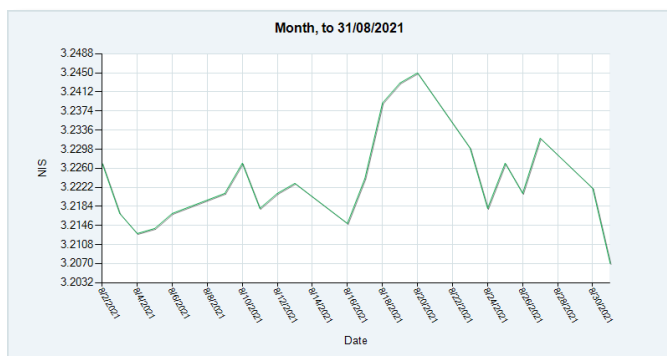
[Bank of Israel - Press Releases - The Monetary Committee decides on August 23, 2021 to keep the interest rate unchanged at 0.1 percent \(boi.org.il\)](https://www.boi.org.il/en/press-releases/2021/08/23)

6. 為替 (EXCHANGE RATE)

● 8月の為替相場は、引き続きシケル高の水準を継続

8月の為替相場は、中旬にシケル安の傾向となるが、外貨準備高の積み上がりなどを背景に、下旬にかけて再びシケル高の方向に。

その結果、8月の為替相場は、昨日よりも更に、ドルに対してシケル高の水準で終了した。



出典：報道・グローブス紙

<http://www.globes.co.il/en/market.tag>

グラフ出典：中央銀行・8月のドルシケル相場推移

[Bank of Israel - Exchange Rates - Chart \(boi.org.il\)](http://boi.org.il)

7. 外貨準備高 (FOREIGN RESERVE)

● 7月の外貨準備高は 2,017 億ドル。引き続き歴史的水準。

中央銀行による発表によれば、7月末時点の外貨準備高は、前月比 15.2 億ドル増となる 2,017 億ドルであった。GDP の 49% を占める。

増加の要因は、中央銀行による外貨購入 (5 億ドル)、民間移転 (0.08 億ドル)、評価替 (11.15 億ドル)。その増加額の一部は、政府移転 (1.04 億ドル) によって相殺された。

出典：イスラエル中央銀行

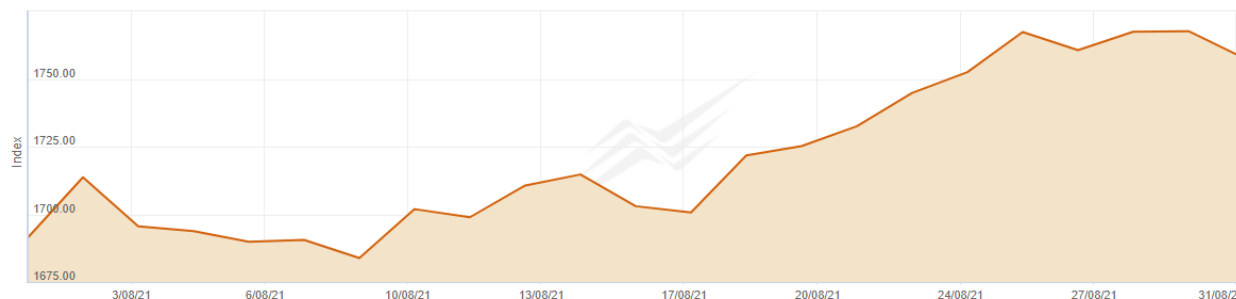
[Bank of Israel - Press Releases - Foreign Exchange Reserves at the Bank of Israel, July 2021 \(boi.org.il\)](http://boi.org.il)

8. 主要株価推移 (TA35)

● 月間推移

Trading Chart - TA-35

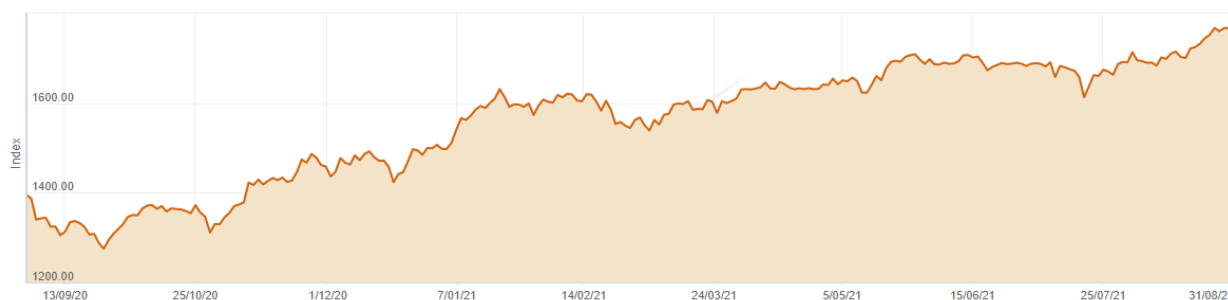
01/08/2021 - 31/08/2021



● 年間推移

Trading Chart - TA-35

01/09/2020 - 31/08/2021



● 8月のテルアビブ証券取引所 (TASE) 関連ニュース

- 10日、シルバーキャッスルインベストメントハウスは、ビットコインと連動した債券を初めてTASEに上場。今後は、機関投資家がビットコイン投資を実施可能に。
- 12日、TASEが発表したところによると、第2四半期には30社が新たにTASEに上場し、2021年上半期にはハイテク企業42社を含む合計63社が新たに上場。総額78億NISを調達。これは、2020年上半期の調達額と比較して680%増、2020年通年の新規企業による調達額と比較して70%増。
- 18日、既存の債券インデックス (Tel Bond-Floating) を新しいインデックス (All Bond Floating Index) に変更。
- 23日、個人投資家がリアルタイム取引データにアクセスしやすくするため、大幅な割引料金を提供し、25,000NIS以下の投資ポートフォリオを持つ投資家のリアルタイムデータのコストを月額わずか1NISに低減

出典：テルアビブ証券取引所

<https://www.tase.co.il/en>

イスラエル経済関係記事

ハイテク人材 投資が急増する中、イスラエルのテクノロジー分野の求人 数が 300%増加

イスラエルのテクノロジー分野は、2021年に入ってから急速に成長しており、今年最初の8ヶ月間で150億ドル以上の資金を調達した。

イスラエル・イノベーション庁は、ハイテク産業への労働者の供給を増やすための革新的なモデルを提供するプロジェクトに3,000万シケルを提供する。

イスラエルのハイテク産業は慢性的な人手不足に悩まされており、この問題は、昨年、資金調達ラウンドで多額の投資を集めた企業が増えたことで悪化。同庁の「ヒューマン・キャピタル・ファンド」プログラムは、イスラエル人労働者の供給を増やすことを目的とした革新的で画期的なプロジェクトを通じ、この問題の解決に貢献したいと考えている。

イノベーション庁によると、100万シケル以下のプログラムにはプロジェクト予算の最大70%、1,500万シケルまでのプログラムには最大50%の助成金を提供する。

イスラエル・イノベーション庁のCEOであるDror Binは、以下のように述べた。

「昨年、ハイテク産業は資金調達の記録を更新し、熟練した労働者を確保する必要性が大幅に高まり、産業界の慢性的な労働者不足の問題が深刻化した。」

「これに加えて、多数の企業が急速に成長したことで、技術やビジネスに関する人的資本の必要性が劇的に高まった。人材不足は、イスラエルのハイテク産業が今後も急速な成長を続け、国際的なリーダーシップと競争力を維持していく上で、最も大きな課題となっている。」

「この基金は、海外からの労働者だけでなく、社会的地位の低いグループを含むイスラエル国民全体に重点を置いて、トレーニング、専門化、配置などの分野でさまざまなタイプのプロジェクトを支援していく。」

また、解決策ではなく、課題を明確にし、業界に熟練した人材を追加すること、提案されたプログラムの革新性、コスト/ベネフィットの側面、パートナーの参加能力、プログラムの拡大能力など、統一された基準に基づき「ボトムアップ」の提案を審査するという。

オリット・ファルカシュ＝ハコーヘン科学・イノベーション・技術大臣は、以下のように述べている。

「これは、今後数ヶ月間の短期的な戦略的課題に取り組むための重要なステップであり、政府がすでに実施している一連のステップに加わるもの。」

「これは、先日可決された予算の一部である、アラブ部門をハイテク産業に統合するための5カ年計画、ハイテク学習を義務化するための国家教育プログラム、イスラエル税務局が現在実施している、海外の人材が国内のハイテク産業に参加することを奨励するためのインセンティブを、まだ決められていない期間に統合するための調査、そしてハイテク企業が労働者をスムーズに産業に吸収できるようにするための追加的な障害物の除去など、政府がすでに行っている一連の措置の一環。」

「この問題への対処は複雑で、今回の提案募集のような即効性のあるステップをあきらめず、包括的な長期計画が必要となる。」

また、ファルカッシュ・ハコーヘンは、政府が目標に掲げているように、今後5年間でイスラエルのハイテク分野の雇用率を高めるために、数多くのハイテク人材育成プロジェクトを1つの長期計画にまとめる計画を主導しているとも付け加えた。

出典：報道 THE JERUSALEM POST

[Israeli tech job openings rise 300% as investment soars - The Jerusalem Post \(jpost.com\)](https://www.jpost.com/Israeli-tech-job-openings-rise-300%-as-investment-soars-671819)

10月対策 ワクチン接種した外国人はコロナ隔離をスキップできる？

ワクチン接種、検査、海外旅行に関する新しいガイドラインは、いまだに宙に浮いたままとなっている。

厚生労働省が日曜日（8/29）に発表したところによると、金曜日(9/3)から、新しい基準に基づくワクチン接種を受けた外国人旅行者は、隔離が完全に免除されるという。しかし、海外でワクチンを接種した人の運命はまだ決まっていない。

新しい基準によると、1週間以上前に3回目の予防接種を受けた人、過去6カ月以内に2回目の予防接種を受けたか回復した人、回復後に1回の予防接種を受けた人は、到着時に受けたPCR検査の結果が出るまで、つまり最大で24時間隔離すればよいことになる。

唯一の例外は、ブラジル、ブルガリア、メキシコ、トルコなど、「赤」と表示された国からイスラエルに入国した人。この場合は、予防接種の有無にかかわらず、自己隔離が必要となる。

イスラエルでは、他国の予防接種証明書や回復証明書を認めておらず、国境はほとんど閉鎖されており、外国人は非常に特殊な状況下で、特別な許可を得た場合にのみ入国することができる。このような許可を受けられるのは、市民や永住者の第一親等の親族に限られる。

しかし、イスラエル人も外国でワクチンを接種した外国人も、入国する際には、厚生省が認めた施設で血清検査を受けて、血液中にコロナ・ウイルスの抗体があることを証明することができる。

最近では、空港の検査場を運営するFEMI社が、到着時にすべての乗客にPCR検査の実施を義務付けているが、これに加えて、126NISの費用で20分後に結果が出る迅速血清検査のオプションを提供するようになった。

検査結果が保健省に送信されると、旅行者には検査を受けた日付が記載されたイスラエルの回復証明書とグリーンパスが渡される。これらの書類が、6ヶ月以内の他の回復証明書と同様に、隔離を免除する根拠となるかどうかは明らかではない。

公式ガイドラインには、その逆を示唆するものはない。すべての国民と外国人が利用できる同省のホットラインでは、海外に滞在していた人の隔離を含むコロナ対策に関する質問に答えているが、血清検査を受けた人に提供される回復証明書は、他のすべての回復証明書と同等のもので、金曜日から同じように隔離の免除が認められるとのことである。

しかし、海外にいる移民やその親族のイスラエル入国支援に何ヶ月も取り組み、最近「Yad L'Olim」という組織を設立した元MKのDov Lipman氏によると、保健当局は、旅行者の隔離免除は海外でワクチンを接種した人には適用されず、最低でも7日間の隔離が必要であると述べている。この問題については、数日中に保健省が決定するとのことだ。

なお、保健省は、この件に関するエルサレム・ポスト紙の問い合わせに対して、報道時間時点で回答を行っていない。

出典：報道 THE JERUSALEM POST

[Could jabbed foreigners skip COVID quarantine? - The Jerusalem Post \(jpost.com\)](https://www.jpost.com/health/coronavirus/could-jabbed-foreigners-skip-covid-quarantine-770000)

日イスラエル経済関係記事

要人往来 ラピッド外務大臣、茂木敏充外務大臣と会談

ヤイル・ラピッド外務大臣は、今晚（2021年8月18日水曜日）、相手国である日本の茂木敏充外務大臣と会談した。

来年はイスラエルと日本の関係が70周年を迎えるが、両国間の広範な経済協力関係は、イスラエルに進出している日本企業の数が増加していることにも表れている。

両外相は、それぞれの国における新型コロナウイルスの大流行がもたらす課題、継続的な経済協力、パレスチナ自治区のジェリコ工業団地プロジェクトへの日本政府の重要な貢献などについて話し合った。

ラピッド外相：「我々の目標は、イスラエルと日本の関係を引き続き強化することである。国際機関での相互支援や、イスラエル経済を強化するための商業振興について合意した。」

出典：イスラエル外務省発表

[FM Lapid meets with Japanese FM Toshimitsu Motegi \(embassies.gov.il\)](https://embassies.gov.il)

スマートホーム Veego Software、1300万ドルのシリーズ A 資金調達を完了（三井物産系の VC、Magenta Venture Partners がリード）

Veego Software は先日、人工知能（AI）、IoT、エンタープライズソフトウェアの領域でイスラエルのアーリーステージのスタートアップ企業にフォーカスするベンチャーキャピタル、Magenta Venture Partners が主導する 1,300 万ドルのシリーズ A 資金調達ラウンドを終了したことを発表した。今回のラウンドでは、既存の投資家である State of Mind Ventures（SOMV）、Robert Bosch Venture Capital GmbH、North First Ventures（N1V）、Amdocs Ventures のほか、追加の投資家からも引き続き支援を受けている。

Veego の共同創業者兼 CEO である Amir Kotler は、以下のように述べた。

「Magenta Venture Partners が、非常に協力的な投資パートナーのファミリーに加わったことを嬉しく思う。Veego は、通信サービスプロバイダ（CSP）にアプリケーションレベルの家庭内体感品質データと実用的な洞察を提供する市場で唯一のソリューションであり、サービス提供のパーソナライズと最適化を可能にする。我々は、グローバルな CSP やエコシステム・パートナーとの成功事例を基に、さらなる拡大を目指す。」

「また、今回のラウンドにより、複数のユースケースでリアルタイム分析機能を提供する機械学習モデルを強化し、グローバルに展開することができる。」と Kotler は付け加えた。

Veego の取締役会に参加する Magenta Venture Partners 社の共同創業者兼ゼネラルパートナーの Ran Levitzky 氏は、以下のように述べた。

「パンデミック後の世界では、仕事、勉強、遊びの場として、コネクテッドホームの重要性が高まっている。エンドユーザは、様々なアプリケーションの利用をサポートするユビキタスなカスタマー・エクスペリエンスを期待しているが、一方で通信事業者は、家庭内でのカスタマー・エクスペリエンスにはほとんど目を向けていない。我々の投資により、Veego はコネクテッドホームのデータとインサイトのリーダーとしての地位を確立し、CSP、アプリケーションベンダー、コンテンツプロバイダーがホームユーザーの体験とニーズを理解して対応する方法に革命を起こすことができる。」

Veego Data Platform は、ウェブベースのデバイスやサービスを利用するユーザーのエンゲージメントを継続的に測定することで、コネクテッドホームにおけるインターネットユーザーの体験を最適化する。同社は、消費されているサービスや独自の接続ニーズの状況に応じて、ユーザーの体験品質をランク付けするための可視化、スコアリング、評価を提供する。Veego を使用することで、ストリーミングの途切れ、低解像度ビデオ、貧弱なオーディオ、ゲームの遅延、Zoom コールの切断、その他無数のコネクテッドホームの問題の根本原因を特定し、問題が発生する前に修正することができる。多くの場合、Veego は数秒で自動的に問題を解決するように設定することができ、コネクテッドホームの体験に新たな時代をもたらす。

コトラーは、「日本の通信事業者である楽天モバイルが Veego の顧客リストに加わったことをお知らせできることも嬉しく、今回の新たな資金調達を利用して、さらに多くの通信事業者に参加していただく予定」と述べている。

State of Mind Ventures の Pinhas Buchris 氏は、以下のように述べた。

「ゲーム、ストリーミング、ソーシャルなど、家庭内で消費されるアプリは、接続されたデバイスやアプリの成長を促進し、完璧な Quality of Experience が重要になっている。Veego のユニークなコンテクストアプローチは、問題の検出、分析、解決の方法を大幅に向上させる。」

出典 : Martechvible

[Veego Software Closes \\$13 Million Series A Funding \(martechvibe.com\)](https://martechvibe.com)

小売 サムライインキュベートがシードステージの Pickey に投資 (詳細非公開)

Pickey は、「ハンドビジョン」と呼ばれる技術を開発している。この技術は、食料品店のピッカーや消費者が、より効率的でミスのないピッキングやセルフチェックアウトのオプションとして使用する。

同社の手頃な価格の技術は、消費者の数に関わらず、どのような店舗構造でも機能。

出典 : Startup Nation Finder

[Pickey | Start-Up Nation Finder \(startupnationcentral.org\)](https://startupnationcentral.org)

イスラエルにおける展示会・国際会議等の予定

※イベント等の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。

※新型コロナウイルスの影響により、今後、開催中止・規模縮小・オンライン開催への変更が実施されるイベントも予想されますので、参加の検討に当たっては、各イベントのウェブサイト等をご確認ください。

※4月中旬より、新型コロナウイルス・ワクチン接種証明書又は新型コロナウイルスからの回復証明書を所持する方が、イスラエル側の受入企業を確保するなどの所定の要件を満たす場合に限り、入国申請を行うことが可能となる制度の運用が開始されています。いずれにしろ、日本からイスラエルへの短期ビジネス目的での渡航・入国が認められる可能性は極めて低いとみられます。

※イスラエルへの来訪計画を立てるに当たっては、当館ウェブページ・イスラエル保健省ウェブページ等、最新情報をご確認ください。

当館 HP 関連情報 https://www.israel.emb-japan.go.jp/itpr_ja/corona_jouhou.html

イスラエル保健省関連情報 <https://govextra.gov.il/ministry-of-health/corona/corona-virus-en/>

※日本からお越しになる方には、現地情勢のブリーフィング等、各種サポートをさせていただきますので、御連絡ください。ぜひ大使館にもお立ち寄りください。

観光 IMTM2021 - 27TH INTERNATIONAL MEDITERRANEAN TOURISM MARKET (2021年2月9日～10月27日、オンライン、10月26～27日、テルアビブ)

イスラエル最大の観光博。昨年は世界57か国が展示を行い、約27,000人が参加。今回は、長期間のバーチャル開催と2日間の実際の会場での開催を組み合わせ実施。

<https://www.imtm-telaviv.com/>

ナノテク NANO.IL.2021 (2021年10月4～6日、エルサレム)

ナノテクに関する国際カンファレンス・展示会。マテリアル、エレクトロニクス、光学、医療、防衛、航空、半導体等の分野を対象に、企業、投資家、大学等からの参加者を想定している。2021年は「3D Meets NANO」という特別シンポジウムも開催される。

<https://www.nanoilconf.com/>

エレクトロニクス **NEW TECH EXHIBITION** (2021年10月5～6日, テルアビブ)

ハイテク分野に関する大規模展示会で、150社以上が展示、数千人の来場者を見込む。対象分野は、クリーンルーム装置、電子光学品、レーザー、光ファイバー、レンズ、カメラ、試験用機器、プリント基板、筐体、電子機械器具、周辺機器、組込みシステム、モーター、ロボティクス、通信機器等。

<https://www.new-techevents.com/new-tech-exhibition/>

インダストリー 4.0 **INDUSTRY 4.0 – SMART FACTORY** (2021年10月5日, テルアビブ)

上記 New Tech 2020 Exhibition のサイドイベントとして開催される、インダストリー 4.0・スマート工場関連に特化したイベント。IoT, 自動化・ロボティクス, M2M, AI, サイバーシステム, クラウド等を対象とする。

<https://www.new-techevents.com/industry-4-o-smart-factory/>

光学 **OPTO TECH 2021** (2021年10月5～6日, テルアビブ)

上記 New Tech 2020 Exhibition のサイドイベントとして開催される、電子光学品に特化したイベント。

<https://www.new-techevents.com/opto-tech/>

電機 **RAX** (2021年10月19～21日, テルアビブ)

電気製品, 制御系, 計装, 自動化, 空気圧工学, 照明システム, エネルギー・省エネに関する展示会。今回が26回目の開催となる。

<https://www.stier.co.il/rax/en/>

医療機器 **THE 2ND MEDICAL DEVICE RESEARCH & DEVELOPMENT SUMMIT** (2021年10月25日, テルアビブ)

医療機器 (ハードウェア及びソフトウェア) に特化したカンファレンス。第2回となる今回は、最先端のR&Dの方法論やツールを特集。

<https://www.stier.co.il/mdr-d/>

技術移転 **ITTN - THE 6TH BIENNIAL CONFERENCE OF ISRAEL'S TECHNOLOGY TRANSFER ORGANIZATION** (2021年10月25日, テルアビブ)

イスラエルの主要大学・研究機関の技術移転機関からなる Israel Tech Transfer Network (ITTN) による隔年のカンファレンス。今回第6回。

<https://www.stier.co.il/ittn/>

空調 **ACLIMA** (2021年11月2~4日, テルアビブ)

空調・冷蔵・暖房・換気システムに関する展示会。今回25回目の開催。

<https://www.stier.co.il/aclima/en/>

モビリティ **SMART MOBILITY SUMMIT 2021** (2021年11月8~9日, テルアビブ)

イスラエル首相府が先導する「燃料選択及びスマート・モビリティ・イニシアチブ」により進められているイベント。今回で8回目を迎える。イスラエルの交通関連スタートアップの展示やセミナーが開催予定。

<http://www.fuelchoicessummit.com/>

防衛 **ISDEF2021** (2021年11月9~11日, テルアビブ)

防衛・警察・サイバー関係の製品を扱う最大級のイベント。今回で11回目。

<https://www.tlv2021.isdefexpo.com/>

食品 **ISRAFOOD** (2021年11月16~18日, テルアビブ)

イスラエルの食品・飲料に関する展示会。メーカーや輸入業者、小売事業者等を対象とする。今回37回目の開催。

<https://www.stier.co.il/israfood/en/>

ホテル HOTEX-KITEX (2021年11月16~18日, テルアビブ)

ホテルやレストラン産業の器具・サービス・技術に関する展示会。今回37回目。

<https://www.stier.co.il/hotex/en/>

モバイル ISRAEL MOBILE SUMMIT 2021 (2021年11月18日, テルアビブ)

モバイルアプリ, ゲーム, アドテックに関する国際イベント。カンファレンスの他, スタートアップコンテストも開催され, 希望者には1対1ミーティングもセッティング。

<https://www.israelmobilesummit.com/>

サイバーセキュリティ CYBERTECH GLOBAL TEL AVIV 2022 (2022年1月25~27日, テルアビブ)

サイバーセキュリティに関するイスラエルにおける最大のイベント。

<https://www.stier.co.il/israchem/en/>

化学 ISRACHEM (2022年3月8~9日, テルアビブ)

化学、石油化学、石油精製、製薬、バイオテクノロジー、食品、洗剤、化粧品、エコロジー、鉱物、肥料、雑草・害虫駆除、塗料、添加物産業のための技術・器具・サービスの展示会。今回17回目の開催。

<https://www.stier.co.il/israchem/en/>

スタートアップ 2022 OURCROWD GLOBAL INVESTOR SUMMIT (2022年3月9日, エルサレム/オンライン)

エルサレムのクラウドファンディング型VCであるOurCrowdによる年次イベント。OurCrowdの投資先を中心としたスタートアップと投資家が一堂に会する大規模なイベント。2020年は186か国から23,000人の登録があったとされる。

<https://summit.ourcrowd.com/>

実験器具 ANALIZA（2022年5月16～17日，テルアビブ）

産業用実験施設向けの技術・器具等の展示会。重工業や製薬産業向けの実験施設向けの器具・測定機器、クリーンルーム、ドラフトチャンバーやフィルターを扱う。

<https://www.stier.co.il/analiza/en/>

投資 TEL AVIV ANNUAL INSTITUTIONAL INVESTMENT CONFERENCE（2022年6月，テルアビブ）

数百の機関投資家が集まる国際会議。

<https://tlvii.com/>

デジタルヘルス DIGITAL HEALTH.IL（時期未定）

デジタルヘルスに関するカンファレンス。スタートアップのコンテストも開催される。EY, ARC（シエバメディカルセンターイノベーションセンター），Israel Advanced Technology Industries が主催。過去5年では，毎回700名以上の参加者があった。

<https://digitalhealth-il.com/>

UX UX SALON 2020（時期未定）

UXデザイナーによるコミュニティであるUX Salonの年次イベント。ネットワーキングと講演を目的とする。

<http://2020.uxsalon.com/>

イノベーション LAHAV EXECUTIVE EDUCATION（通年，テルアビブ等）

テルアビブ大学のビジネススクール Lahav Executive Education Coller School of Management が実施するイノベーションを学ぶツアー。概ね1週間のプログラムで，個別のニーズに応じたイノベーションツアーを実施。

<https://www.lahav.ac.il/en/home>

日本におけるイスラエル関連イベントの今後の予定

※イベント会議の詳細情報については、各イベント事務局のウェブサイトを御覧ください。

IOT Webinar : IoT を通じたデジタル革命の加速化 (2021年9月2日、オンライン)

AI、先進的データ解析手法、IoT、機械学習、クラウドプラットフォームなどの技術を統合して行く動きが、近年、製造業の製造現場においてとみに進んでおり、この動きは「先進製造技術 (= Advanced Manufacturing)」と呼ばれています。様々な製造工程のある中、IoT 技術は、その製造現場における基本的・基礎的な分野に大きく貢献しており、他の革新技術を互いに結びつけると共に、その先進技術を、伝統的な工程に取り入れて行く役目を担っています。この相互接続された環境においては、途切れる事のない、シームレスな情報生成が常に行われていきます。そしてそれは、データ解析や保守管理などといった工程内でも、デジタル技術の更なる融合を加速化させており、製造業に更なる進化と改良をもたらしています。この動きは、製造業界内の企業地図を書き換えていくだけの力を持っており、この先進製造技術を素早く取り入れた企業であれば、古参の競合を大きく凌駕して成長する機会が訪れているのです。

このウェビナーでは日本企業の皆様が国内外での厳しい競争を勝ち抜いていくために、どのように先進のイスラエルビジネスを活用すべきかについて、ご案内させていただきます。

イスラエル大使館とフロスト&サリバンの共同ウェブセミナー。

[Webinar : IoT を通じたデジタル革命の加速化 – 駐日イスラエル大使館 経済部 \(israel-keizai.org\)](http://israel-keizai.org)

モビリティ **JIIN 第二回 スマートモビリティ バーチャルイベント** (2021年10月6日、オンライン)

今般の自動運転技術の普及に向けた取り組みが活発化していく中、2050年のカーボンニュートラルの目標達成に向け、様々な角度から今までのビジネスの在り方が問われ、大変革の必要性が論じられています。

4月に開催いたしました、第1回イスラエルスマートモビリティウェビナーに続き、今回は Sharing と Electric に主に焦点を当て第2回を開催いたします。各分野の専門家を招いて最新動向、そしてイスラエルが保有するこの分野での技術を紹介いたします。

主催：駐日イスラエル大使館経済部、イスラエル輸出国際協力機構

[JIIN 第二回 スマートモビリティ バーチャルイベント – 駐日イスラエル大使館 経済部 \(israel-keizai.org\)](http://israel-keizai.org)